

ようざん通信

発行日：平成21年9月1日

家族会に参加して ケアサポートセンターようざん栗崎



8月9日(日)ようざん栗崎とSD栗崎の合同家族会を開催致しました。目的として、ご家族様と職員、また、ご家族様同志の意見交換を行い介護する側、介護される側の心理状態を知る事、そしてご家族様と施設とがより身近なものになる事としました。はじめに、ようざん一座の「物忘れ」をテーマとしての寸劇を観ていただきました。「こういう事あるよね。」「困っちゃうんだよね。」「解ってるけど怒っちゃうんだよね」などと頷きながら、時には大声で笑いながら観て下さり共感していただけました。意見交換の場では、ご家族様同志が積極的に意見を交わす姿が印象的でした。皆さん相手のご家族様の心情に配慮しながらも、他の人の苦悩や介護方法を知りたいという真剣な表情でお話しされ、中には涙ぐまれる方もおられました。そんな中から「共感」「安心」「希望」「反省」といった大きなものを得られたようです。介護で辛いのは自分だけでは無いことが分かり、救われた気持ちで明るい表情で帰られました。

私達職員も、ご家族様の愛情深さと根気良い努力には学ぶものが多くありました。最後に施設への要望等を伺いました。幾つかの要望や質問がありましたが、同席して頂いた高崎市の職員様の応答により納得のいくものとなりました。家族会が終わり、施設に戻って利用者様それぞれの顔を見ると利用者様の後ろに今日のご家族様の姿が見え「大切な人をお預かりしているんだな」と再認識しました。ご家族様にとっても職員にとっても得るものが沢山あった家族会でした。(木暮 和子)



11月1日新規オープン

ショートステイ ようざん

ショートステイようざんの特徴

1. 楽しく安心なショートステイ

全室個室(20室)により、ご利用者のプライバシーが守られ、個人の生活の空間が確保されています。ご自宅にいるようなリラックスした感覚で過ごすことの出来るユニットケアにてご支援させていただきます。そのため、大声を出す、他の利用者の物を触る、夜間不眠等の認知症特有の行動障害による利用者間のトラブルが回避でき、落ち着いた生活を送っていただけます。隣にケアサポートセンターようざん栗崎とスーパーデイようざん栗崎があり、ご利用者同士の交流が出来る、趣味活動等を共有することができます。ボランティアによる催し、ご利用者同士の交流、様々なレクリエーションを通して、心身ともに楽しみながら体を動かす事により日常生活動作を維持します。

2. 認知症の方や医療依存度が高くても対応可能なショートステイ

ようざんでは、認知症ケアに特化し、全職員に認知症ケアの研修を行っています。認知症の方が安心してご利用できるショートステイを目指します。また、常勤の看護師を2名配置し、医療依存度の高い方への対応を強化します。

3. 1年365日、午前7:00から午後8:00までの送迎に対応します

ショートステイようざんでは、ご利用者様や御家族の希望に合わせて、午前7:00から午後8:00までの送迎に、1年365日対応します。ご利用者の身体の状態にもよりますが、遠距離も対応いたしますのでご相談ください。

施設概要

規模 20床 ユニット数 2ユニット(1ユニット10床・全室個室)

ショートステイ ようざん
群馬県高崎市栗崎町141-1

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん貝沢

8月13日(晴れ)pm13:30～

スイカ割り大会を開催致しました～！
誰が割る！誰が割る！俺が私かと棒の奪い合いとまではいきませんが、楽しく参加されていました。
思い切り床を叩く音や利用者の皆様の大きな笑い声が聴かれると、生きている！という力強さをとても感じます。
いや～本当に良いことですね。
3時のお茶には割ったスイカを皆様、美味しそうに食べていました。
まさに夏！夏を感じる事が出来たひと時でした。



8月15日(晴れ)pm19:30～

東部小学校で開催された、東部祭りに利用者の皆様と行って参りました。
空クジなしの抽選クジや、盆踊りあり、花火もありで利用者の皆様も幼少の頃に帰った気分だったことでしょう。
とても楽しまれていました。
また、屋台の美味しそうな匂いが鼻をくすぐります。
あれ食べたいね、これがいいんじゃない？等と言われていたかどうかまでは分かりませんが、楽しくもあり、そして懐かしくもあるひと時を過ごしたことと思います。
また、来年も一緒に行きましょうね。



8月21日(曇り)日中

レクリエーション(創作)では、ようざん貝沢をテーマに文字をお花紙で彩った看板的なものを製作しました。
お写真を見て頂ければ分かりますがとても良く出来ています。
お花紙を丸めるのも、文字に貼り付けるのも、利用者の皆様も楽しんで参加して下さいました。
また、体を動かして頂く為、ようざん貝沢主催の玉入れ大会を開催致しました。
利用者の皆様も気合いが入ってました～！
さすが、貝沢の利用者様は元気が良いですね！(^-^)
生き活きとしてらっしゃる。お若い証拠です。
職員の皆さんの大きな掛け声と共に、玉が箱に吸い込まれていく様で利用者の皆様もとても楽しんでいらっしゃいました。



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん飯塚



暦の上では秋とはいえ、まだまだ暑い日が続きますが、そんな中でもSDようざん飯塚の利用者様は毎日元気に体操やゲーム、制作等のレクリエーションに参加して下さいます。様々な活動の中で特に皆様が意欲的に取り組んで下さっているのが『歌』です。歌集を使っ

での合唱では、大きな声で歌う方・手拍子をなさる方・歌集を真剣に目で追う方と楽しみ方は様々ですが、どの利用者様もその表情は穏やかです。皆で歌うことで一体感を感じ、また懐かしい歌を聞く事でそれぞれの思いが心の中を巡るのではないかと感じています。他にも月に1度のペースで慰問

の方が来苑され、カラオケや踊り、ギターやハーモニカなど様々な趣向をこらし楽しませて下さり、場はとても盛り上がります。なかには感激して涙をこぼされる方もいらっしゃる程で、改めて音楽は人の心に沁み入るものなんだと感じる一時です。これからも利用者様が楽しい時間を飯塚で過ごして頂ける様、音楽はもちろんのことその他レクリエーションに力を入れていきたいと考えています。
(沼田)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん貝沢

今年は夏らしい夏という感じではなかったですね。新型インフルエンザが猛威を振り身近に迫ってきています。マスクや消毒液等の予防グッズが品薄状態となっているようです。手すりや椅子の塩素消毒、マスクの着用、手洗い、うがいをしっかりと行い予防しています。おかげさまで8月は体調を崩して休まれる利用者様はいませんでした。これからも気を緩めずに予防をしっかりと行っていきます。

苑の畑で実ったきゅうりや枝豆を収穫して、きゅうりの塩もみやずんだ餅を作って食べました。ビニール袋にきゅうりと塩を入れ利用者様が交代で美味しく塩揉みしました。ずんだ餅は苑の厨房で白玉をこね形を整え茹でて、枝豆も茹でて皮をむき潰して砂糖を混ぜて、白玉にからめ

て盛り付けと最初から最後まで利用者様に作って頂きました。厨房に入ると女性利用者様の雰囲気が変わり「私の出番よ!」と言わんばかりの手際の良さであつという間に出来上がりました。

苑の畑は土の状態が悪く園芸が出来る状態ではなかったので収穫は期待していませんでしたが、枝豆、きゅうりは予想をはるかに超える収穫で驚きました。

現在は再び土をおこして土を休めています。今度は色とりどりの花の種をまいて鑑賞して頂こうと計画しております。さらに、9月は梨狩りを予定しております。

(山崎)



小規模多機能型居宅介護施設

ケアサポートセンターようざん並榎

つい最近まで、桜が咲いていると思っていたら夏も終わってしまったようです。今年の夏は冷夏で晴れの日がなかなか続きません。そんな日々が続いている中、ケアサポートセンターようざん並榎ユニットにはひまわりや金魚の制作物、花火の絵などが飾られ夏満開です。利用者様には、少しでも季節を感じていただければと思っております。先日、ある利用者様のお誕生日会が行われました。皆様とハッピーバースデーを歌い利用者様へプレゼントをお渡ししました。すると、突然利用者様から一言言いたいとおっしゃいました。Aさんは「並榎の皆さんの笑顔がうらやましい。いつも一生懸命仕事

をしてくれてありがとう。」と仰っていただきました。私はこの言葉にとっても嬉しく感動してしてしまいました。何気ない“ありがとう”の一言で毎日を頑張ろうという気持ちになれます。私も利用者様の笑顔と優しさに支えられています。私事ですがようざんに就職し早3ヶ月がたとうとしております。まだまだ未熟ですが、人生の先輩方に囲まれ日々頑張っていきたいと思っております。レクリエーション活動でも制作レク、朝の体操等より楽しい事が提供できるように、利用者様が「早くようざんに行きたい!!」と思っただけのよう頑張ります。(粕川)





第2回ようざん栗崎納涼祭

認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん栗崎

朝夕の風が秋を感じるようになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。8月は、強い陽射しが照り付け、ドライブや散歩に出かける機会が少なくなりましたが、室内でも楽しく快適に過ごして頂けるよう日々心がけております。そして、利用者様には常に季節を感じて頂けるような企画を提供させて頂いております。8月は夏の風物詩でもある“スイカ割り”を行いました。『我こそスイカを割ってやるぞ!!』と皆様、意気揚々と頑張っておられ、童心に戻ったような笑顔が印象的でした。「楽しかったよ」「また、やりたいね」とスイカ割りに参加した方も、応援を頑張っておられた方も、スイカを召し上がりながら明るい表情で話されておりました。

また、陽射し優しく心地よい風が吹き抜ける日には、苑の庭に椅子とテーブルを出し、ティータイムを楽しみました。「同じおやつも屋外で食べると格別ですね」と好評でした。

8月23日には、“ようざん栗崎第2回納涼祭”を開催致しました。天候にも恵まれ、たくさんの方にお越し頂きました。“ハワイアンバンド”“フラダンス”“栗崎町八木節保存会”“綿貫町二段落し”など慰問の方々による素晴らしい演目で、楽しいひと時を過ごすことができました。また、職員による“よさこいソーラン”“花笠音頭”にも大きな拍手とお褒めのお言葉を頂き、何ヶ月も頑張ってお練習して来た苦労が報われた瞬間でした。無事終わる事が出来たのも、ご家族様、地域の皆様方、ボランティアの皆様方のご協力の賜物と感謝しております。ありがとうございました。

今後ともスーパーデイようざん栗崎を宜しくお願い致します。(梨本)



小規模多機能型居宅介護施設

ケアサポートセンターようざん栗崎

ようざん栗崎の大イベントである『納涼祭』が8月23日(日)に行われました。

納涼祭を行うにあたり、かなり前から利用者様と職員が一丸となって準備を進めてきました。特に、飾り付けに使う「お花作り」では、利用者様が活躍してくださいました。作成中には「お祭りはいつあるの?」などの声が何度も聞かれ、納涼祭を楽しみにしてくださっている様子が伝わってきました。

納涼祭当日は天候にも恵まれ、家族の皆様・地域の方々など、大勢の方々が参加して下さり、とても活気のある素晴らしい納涼祭になりました。

利用者様は慰問の方々の出し物をご覧になりながら、出店のフランクフルトや焼きそばなどを美味しく召し上がりながら、家族の方々と談笑する姿がとても微笑ましく感じられました。

又、今年は職員が利用者様・ご家族様に喜んで頂ければと思い「よさこいソーラン節」「花笠音頭」を業務の合間に一生懸命に練習し、皆様の前で気持ち良く踊らせて頂きました。

納涼祭が終了し、家族の方々と一緒に帰る利用者様はみんな最高の笑顔で手を振りながら帰宅されました。このみなさんの笑顔がこの納涼祭で一番輝いていました。

素晴らしい納涼祭を無事に終えることができましたのも、大勢の方々のご協力のおかげです。ご協力いただきました御家族の皆様、地域の皆様、ボランティアの皆様本当にありがとうございました。(林)



通所介護

デイサービスようざん並榎



残暑お見舞い申し上げます。皆様いかがお過ごしでしょうか？さてデイサービス並榎では今月こんなレクリエーションで盛り上がりました。手作りおやつは、白玉フルーツポンチとかき氷大会をしました。利用者様が白玉粉を練り、団子を作って頂き、フルーツを添える。かき氷大会はご自分で氷をかいでお好みのシロップやあずきでトッピングをして召し上がって頂きました。

「懐かしいなー」「おいしかったよ」と声が上がりました。

制作レクリエーションは、桔梗の花をベースにした壁面づくりと大型提灯、お花紙を各色に丸め壁面を埋めていく根気のいる作業ですが、デイサービスの利用者様の手にかかると「あっ！」と言う間に仕上がってしまいます。大きめの提灯は障子紙を絵の具で染め、土台の風船に貼って頂き仕上げました。

お持ち帰りの制作レクリエーションは、軍手で作るうさぎ型ヨーヨーです。一人ひとり利用者様に作って頂くレクリエーションは軍手で指2本をウサギの耳にして輪ゴムをつけてヨーヨーにしました。昔、手袋で人形を作ったよね！と職員と話しながら楽しく仕上げました。デイサービスでは、一ヶ月ごとに担当が変わりその月の担当者が中心になり楽しんで頂けるようレクリエーションの内容を考えておりますので、是非覗いて見てください。スタッフ一同お待ちしております。(重田)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん

秋の気配が感じられるようになってきました。8月はお盆ということもあり、ナスやキュウリの馬を作り、お盆のころの話をたくさんしました。その中で、提灯を作ったり、花笠を作ったり、手ぬぐいの絞り染めをしたりしてみんなで東京音頭や炭坑節などを楽しみました。

蒸し暑い日が続きなかなか外に出られなかったのですが、部屋の中でボールや風船ゲームを楽しんだり、牛乳パックの積み木を楽しんだりする中、涼しい場所を見計らって浜川公園、榛名神社、県庁などへも出かけました。浜川公園では木々の中をゆっくり歩いたのですが、「緑の中は気持ちいいね」「こんな散歩ができるなら毎日来たいなあ」という声も聞かれました。木々の中を通り抜ける風が結構涼しくて、途中ザリガニ釣りの子供さんと交流して大きなザリガニを見せてもらい「すごい

とったねー」と声をかけたり、イヌの散歩の人に挨拶を交わし「大きい犬ですわね」と近くに寄って犬をなぜたり、「なんて言う名前ですか」なんて聞いたり、楽しい交流がたくさんできました。木陰でのお茶やおやつは格別な味がしたようです。又手作り料理もたくさん楽しみました。カレーを作ったり、サンドイッチやスープ、牛乳ゼリー、ヨーグルト和えなどなど楽しく作っておいしく頂きました。最近ではドライブの途中、梨の試食を食べて秋の味覚を楽しんでいます。

秋に向け食べ物もおいしい季節ですし、気候も過ごしやすくなりますが、新型インフルザも気になります。手洗い、うがい等十分予防し、体調には十分気をつけながら秋を楽しんで過ごしていきたいと思います。9月もよろしくお願ひいたします。(田村)



認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん



まだまだ、暑い日が続いており入居者の楽しみにしている散歩は出掛ける事がなかなか出来ませんが、鼻高の展望の丘へ全員でお出かけをいたしました。ひまわりを初めとする夏の花が咲いていました。見晴

らしも良く遠くまで景色を見ながら、用意して持って行ったら冷たい麦茶で水分補給をしました。その後は皆様がおたのしみの回転寿司での

昼食です。普段とまた違った雰囲気の皆様食欲が増し、お寿司を何皿も食べそしてケーキ、プリンなどのデザートもおいしく食べて満足の様子でした。帰りの車の中で「また来たいね。」との声が聞かれました。これからも入居者の皆様が安心して過ごしていただける様頑張ります。

(神宮)



居宅介護支援事業所ようざん ～新型インフルエンザについて～



この夏、インフルエンザの感染者数が増加し、正式に「流行入り」した事が21日、国立感染研究所の調べで分かりました。全国約5千カ所の定点医療機関からの報告数が、16日までの1週間で1施設当たり1.69人となり、流行開始の目安である1人を上回りました。厚生労働省によると、過去10

年で夏に流行入りしたことはないとの事です。

< 新型インフルエンザとは？ >

新型インフルエンザウイルスとは、動物のインフルエンザウイルスが、人に感染し、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へと容易に感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患を新型インフルエンザといいます。

< 新型インフルエンザはどんな症状か？ >

インフルエンザにかかると、まずのどの痛み、鼻汁、くしゃみ、咳、頭痛、寒けなどとともに発熱がみられます。このようないわゆるかぜ症状の他に、筋肉痛、関節痛、眼球の痛み、腹痛、下痢など幅広い症状がみられます。熱はだいたい5日間続きます。この中で3日目に少しの間解熱することがあり、これは二峰(にほう)性の発熱と呼ばれています。インフルエンザの合併症として脳炎・脳症が最近注目されています。これを発症するとけいれんや意識障害がみられ、死亡したり後遺症を残したりといったこともあります。

< 新型インフルエンザと通常のインフルエンザの違いは？ >

通常のインフルエンザと新型インフルエンザの症状は類似しており見分けることは困難ですが、流行地(メキシコ、アメリカなど)への渡航歴・感染した豚との濃厚接触・感染者との接触歴等が参考になります。症状等から新型インフルエンザに感染していると疑われる場合は、PCR(遺伝子検査)等を行うことにより、確定診断をすることができます。

< 新型インフルエンザはどのように感染するのか？ >

新型インフルエンザの予防には、通常のインフルエンザに対する下記のような取組を習慣づけておくことが重要です。

- ・咳、くしゃみの際は、ティッシュ等で口と鼻を被い、他の人から顔をそらすこと

- ・使ったティッシュは、直ちにゴミ箱に捨てること

- ・咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクを着けてもらうこと(個人が使用するマスクで最適なものは、不織布製マスクです。)

- ・咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗うことまた、次の点についても心がけてください

- ・帰宅後や不特定多数の者が触るようなものに触れた後の手洗いうがいを日常的に行うこと

- ・手洗いは、石鹸を用いて最低15秒以上行うことが望ましく、洗った後は、清潔な布やペーパータオル等で水を十分に拭き取ること

- ・感染者の2メートル以内に近づかないようにすること

- ・流行地への渡航、人混みや繁華街への不要不急な外出を控えること

- ・十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとり、規則的な生活をし、感染しにくい状態を保つこと

< 新型インフルエンザにかかったかもしれないと思ったらどうすればいいですか？ >

インフルエンザの予防は、特に、妊娠中、5歳以下、60歳以上、基礎疾患を有するなど、感染時に重症化する可能性が高い人とその周囲の人々に期待されています。医療機関は、発熱患者の診察場所、診察時間、入り口、廊下、待合室などを、感染時に重症化する可能性のある人々と分け、リスク者の安全を確保。感染が疑われる人は、通院前に電話で医療機関に受診場所、受診時間、入り口などを確認するようにします。以上の事を踏まえ、十分注意しましょう。万が一かかってしまった疑いがあるときは、早期発見早期の対応を心がけましょう。

(小板橋)

ケアサポートセンターようざん

今年の夏は雨が多少変わった夏となり、各地で豪雨による様々な被害が報告されている今日この頃です。皆さんはいかがお過ごしでしょうか？この暑さで、夏バテなどはしていないでしょうか？ケアサポートセンターようざんでは、室内にいても熱中症や脱水になる危険性を考えて、ペットボトルなどを利用して、少しでも多く水分を摂取して頂けるようにし、利用者様の健康管理に努めています。この季節は、どうしても暑

い日が多く外出する機会が減りがちになってしまいます。しかし、室内の涼しい所ばかりにいても体にも良くはありません。その為、苑の周りを散歩したり玄関先の日陰で歌を歌ったりしながら、あまり長い時間にならないように配慮しつつ外気浴を楽しんでいます。もう少し涼しくなって色々な所へ出掛けられるのを楽しみに待っています。(新後閑)



日 月 火 水 木 金 土

		1 スイートポテト作り (飯塚) マジックショー (栗崎)	2 南京玉すだれ (栗崎)	3	4	5 お誕生日会(飯塚)
6 松扇会(上並榎)	7 観音山ファミリー パークピクニック (飯塚)	8 むつみ会(栗崎) 理美容日(上並榎・ 栗崎)	9 理美容日(貝沢)	10	11 ギター演奏 (上並榎)	12
13	14	15 岡本ブラザーズ (飯塚) 理美容日(飯塚)	16 岡本ブラザーズ (栗崎) 理美容日(飯塚) 和太鼓(上並榎)	17 大運動会(飯塚) 南京玉すだれ (上並榎)	18 さわやかハーモニカ (上並榎) ふれあいバラエ ティー(飯塚)	19
20	21	22 さわやかハーモニカ (飯塚)	23 理美容日(上並榎)	24 理美容日 (貝沢・栗崎)	25 岡本ブラザーズ (貝沢) 西ハーモニカ (上並榎) 読み聞かせボラン ティア(上並榎) 梨狩り(飯塚)	26 お茶会(飯塚)
27	28	29 アコーディオンサーク ル(栗崎) エレクトーン演奏 (上並榎)	30 シャンソンショー(貝 沢)			

※スーパーデイ飯塚では、9月21日から9月27日まで敬老の日イベント週間です。

主権在客

(株) プランドウ